



ZENFUREN

2014年10月3・4日

号外

全国国立大学附属学校連盟
全国国立大学附属学校 PTA 連合会
〒105-0001 港区虎ノ門 1-2-29
虎ノ門産業ビル 8F
TEL : 03-3591-2091
FAX : 03-3591-2092

全附P連PTA研修会 第5回全国大会

テーマ別分科会 教育後援会会長会

附属学校の運営の一端を担う教育後援会。しかし、その有り様や会費の使途についてはあまり表に出る事はありませんでした。今年行われたアンケートを基に、後援会への理解を深めようと、今年度2回目の開催となりました。



教育後援会アンケート調査結果

回答校園数 189 (回答率：72%) 後援会保有数 174 (保有率：96%)

代表者選出

現役保護者から互選・OBから選出、PTA役員兼務は見られない
会費の納付方法

入学時と月納付の併用

奨学寄附金制度への理解度

4割の学校園では寄附金制度を理解していない

奨学寄附金制度の有用性

1割が必要でないという回答

奨学寄附金の総予算に占める割合

寄附手続きを行っていない学校園が3割

後援会費(寄附金以外)の支出方法

6割が後援会事務を保有

教育後援会の今後の運営の在り方

8割が重要性を認識

全附P連 田中米育理事の司会のもと、同久保眞司監事を座長に
文部科学省高等教育局大学振興課教員養成企画室長補佐 森次郎氏



愛媛大学教育学部附属小学校
PTA会長 平塚 肇 取材

を助言者に迎え開催されました。

久保監事のアンケート結果の説明を基に、テーマ毎に各テーブルで話し合い、意見を集約する形で進められました。

後援会費の納入については、多くの学校が100%を達成できているがあくまで強制ではないという事で、少数ではあるが納入だけできない保護者がいる。

「いっそのこと、強制納入の形はとれないか」等の意見も出された。これに対し、森室長補佐から、「非常に難しい問題だ。あくまで任意ではあるが、より良い附属学校にするためには、必要不可欠な存在。昨今問題となっている、「子どもの貧困」という事も考慮しなければいけないが、引き続き丁寧な説明を行いながら、後援会費の納入を進めていただきたい」との、ご助言を頂きました。

久保監事から「アンケートからすると、あくまで推測による試算ではあるが、全国の附属学校で年間30億円近く金額が後援会費として納入されている。

このお金の使途について、まだ曖昧なところもあるので各校園の実情にあった使い方をする必要があるのではないか。」との提案がなされました。

最後に出席者からも強い要望があり、次年度以降も引き続きこの教育後援会会長会を開催していく事を確認し閉会となりました。